

令和元年度 いでは文化記念館運営協議会

令和2年 2月13日(木)

9時30分

いでは文化記念館2階 レクチャールーム

〈 次 第 〉

※開会前に委嘱状交付を行います。

1. 開 会
2. 役員選任
3. 会長挨拶
4. 協 議
 - (1) 令和元年度事業実施状況について
 - (2) 令和2年度事業計画(案)について
 - (3) その他
5. 閉 会

いでは文化記念館運営協議会委員名簿 (任期：H31. 4. 1～R3. 3. 31)

NO.	区分等	氏 名	部 会	所 属 等	推薦根拠
1		島津 慈道		羽黒山正善院 住職	学識経験 出羽三山文化 鶴岡市文化財保護審議委員
2		粕谷 典史		宿坊組合組合長	地域連携
3		後藤 赳司		出羽三山山岳宗 教研究所主幹	学識経験・古文書
4		宮野 直生		出羽三山神社 宮司 出羽三山歴史博物館 館長	出羽三山文化
5		工藤 純平		NPO 蜂子山中	地域連携

(順不同、敬称略)

事務局体制 (令和元年度)

	氏 名	所 属 等	備 考
1	佐藤 守	羽黒庁舎産業建設課課長(併)農業委員会事務局羽黒分室長	
2	前田 郷子	羽黒庁舎産業建設課主査	
3	宮本 新也	羽黒庁舎産業建設課専門員	
4	菅原 大輔	羽黒庁舎産業建設課専門員	

指定管理者 (羽黒町観光協会 平成28年4月1日から)

	氏 名	所 属 等	備 考
1	星野 博	羽黒町観光協会 会長	
2	國井 儀昭	羽黒町観光協会 事務局長	
3	吉住 弘幸	羽黒町観光協会 係長	
4	山崎 安奈	羽黒町観光協会 いでは文化記念館 学芸員	
5	菅原 真一	羽黒町観光協会 主任	
6	齋藤 聖子	羽黒町観光協会 嘱託職員	
7	早坂 美津穂	羽黒町観光協会 事務員	

令和元年度 いでは文化記念館事業 実施状況について

1. 企画展示

(1)「第19回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：平成31年4月18日(木)～令和元年6月24日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品
合計40点を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信した。

入館者数：1,043人

(2)「修験道中膝栗毛～山伏が作った“信仰のみち”～」

展示期間：令和元年6月29日(土)～11月25日(月)

展示内容：テーマは「信仰の道」。羽黒山第50代天宥別当の事業、江戸時代の資料を中心に、出羽三山信仰の「道」のひみつに大きく焦点を当てる内容の展示を行った。期間中はクイズラリーを開催するなど、来館者の興味を引くイベントを行った。

入館者数：3,058人

(3)「収蔵資料展 古文書からみる羽黒山の神仏分離」

展示期間：令和元年11月30日(土)～令和2年4月13日(月)

展示内容：民俗学者の戸川安章氏から当館に寄贈された資料の中から、出羽三山の神仏分離を物語る貴重な資料の数々を展示した。神仏分離から150年が過ぎ、羽黒修験はどう変わっていったかを当時の資料から探っていた。

入館者数：212人 (2月6日現在)

(4)「出羽三山歴史博物館×いでは文化記念館 共通入館券事業」

実施期間：令和元年6月29日(土)～11月25日(月)

内 容：2019年が「令和元年」という特別な年であり、なおかつ新潟・庄内ディステーションキャンペーンの年にあたり、出羽三山神社では「国宝羽黒山五重塔内部特別拝観」と「羽黒三所大権現秘仏公開」が行われた。それに併せて、誘客事業の一つとして両館の共通入館券を発行した。共通入館券の発行は双方の展示期間に限定しプレ事業も含め約6か月間の事業とした。600枚発行した共通券は好評につき10月中に完売した。

(5)「いでは文化記念館ポイントカード発行」

実施期間：平成31年4月18日(木)～令和2年4月13日(月)

内 容：有料入館者を増やす目的で、入館者と館主催イベントの参加者にポイントカードを発行した。各企画展と主催イベントに参加する度にスタンプ1個を押印するもの。スタンプを3個または6個集めた方にはそれぞれ当館のオリジナル記念品をプレゼントした。達成者は年間を通して少なかったが、来年度も事業を継続し、リピーター増加を目指す。

2. いでは文化記念館企画展示記念講演会

(1) 企画展開催記念講演会「羽黒山伏と学ぶ・江戸庶民のアイドル！於竹大日如来を知る講座」

※当日、大型台風のため講演会は催行中止となりました。

- 講師／宝井琴桜氏（講談師）、長南慈恵氏（正善院副住職）
- 日程／10月13日（土） 13：30～15：30
- 場所／羽黒山荒澤寺正善院 本堂・黄金堂
- 内容／女性の参詣をテーマに、江戸の庶民から絶大な人気を博した庄内出身の女性「於竹大日如来」の講演会を開催。女性初の真打講談師・宝井琴桜氏による講談「お竹如来」の講演、そして正善院副住職・長南慈恵氏による於竹大日如来縁起絵巻の絵解など。参加者には特別記念品プレゼント。
- 関係団体／いでは文化記念館・羽黒町観光協会・正善院

(2) 企画展記念イベント

「羽黒山伏と歩く 山伏の作った“信仰のみち”」

- 講師（先達）／林 慈空 氏（荒澤寺正善院山伏、荒澤寺秋の峰・闍伽先達補）
長南 弘道 氏（荒澤寺正善院 副住職）
- 日程／
- ①5月12日（日） 9:30～10:30 黄金堂境内のみ 講師：長南弘道氏
- ②6月 8日（土） 9:00～12:00 黄金堂～五重塔～合祭殿（バス）講師：林慈空氏
- ③7月13日（土） 9:00～12:00 黄金堂～五重塔～合祭殿（バス）講師：長南弘道氏
- 参加人数／延べ 48名
- 内容／企画展開催を記念して、出羽三山信仰にゆかりある「信仰のみち」のルートで羽黒山を登拝した。信仰の歴史に触れ、羽黒山の信仰の歴史について理解を深めるため開催した。合祭殿では、当時の寂光寺金堂の説明や参拝、内覧などを行った。
- 関係団体／いでは文化記念館・羽黒町観光協会・出羽三山神社・荒澤寺正善院

3. 「羽黒山歴史探訪～門前町編～」

羽黒山信仰を連綿と支えてきた門前町・手向地区。修験者が住み信仰の歴史を伝える文化財が点在する門前町の歴史にスポットをあてその魅力を探った。

(1) 「天宥別当ゆかりの道を辿る～玉川寺・赤坂薬師・黄金堂～」

- 講師／長南 弘道 氏（羽黒山正善院副住職）
- 日程／10月13日（土） 8：30～13：30

※当日、大型台風のためイベントは催行中止となりました。

(2) 「天宥別当ゆかりの道を辿る～天宥堰・破尺堂・荒澤寺～」

- 講師／渡部 幸 氏（出羽三山歴史博物館学芸員）
- 日程／11月9日（土） 8：30～13：30
- 目的／出羽三山歴史博物館学芸員の渡部幸氏による案内のもと、天宥別当ゆかりの場所である「天宥堰」「破尺堂」といった、かつて庄内藩との境界としての役割を持っていた史跡を訪ねた。昼食は田村坊で精進料理をいただいた。
- 参加人数／25名 ○共催／羽黒町観光協会

4. 古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

■目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。

■講師 後藤 赴司 氏（出羽三山山岳宗教研究所 主幹）

■会場 いでは文化記念館レクチャーホール

■日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日 ■回数 全10回

平成18年度から実施している事業で、これまで参加者の要望等も反映しながら年々講座内容を充実させてきた。平日開催に関わらず参加者が多く、出羽三山の歴史の学習も含め古文書の解読に熱心である。

23年度からは、古文書と合わせて実地研修を実施し、年々参加者の理解と興味が深まっている。参加者からは、それぞれの地域に存在する出羽三山関係の古文書についての問い合わせもあり、新たな歴史史料の発掘も期待できる。

このような参加者の意識の広がりや、重要史料の散逸や消滅の防止となり、地域の歴史と文化の継承につながっていく。

※R1年実績 講座回数 全10回、申込者 28名、述べ参加者 194名

令和元年度その他イベント

*第61回奥の細道羽黒山全国俳句大会 9月28日（土）・29日（日）



羽黒山歴史探訪②（11月9日開催）※第1回は台風のため中止



羽黒山伏と歩く山伏の作った“信仰のみち” 5月12日(日)、6月8日(土)、7月13日(土)開催



添付書類

* 令和元年度

- ・ 入館者実績
- ・ 施設利用実績
- ・ 入館料実績
- ・ 企画展クイズラリー統計結果
- ・ 古文書講座アンケート結果
- ・ 羽黒山伏と歩くアンケート結果
- ・ 歴史探訪アンケート結果

令和元年度 いでは文化記念館 入場 人数・売上 年間集計表 (令和元年 月 日現在)

個人客									
月	大人		高・大学生		小・中学生		減免 人数	合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		人数	金額
4	324	¥127,800	7	¥2,100	7	¥1,400	3	341	¥131,300
5	457	¥181,600	13	¥3,900	19	¥3,800	3	492	¥189,300
6	228	¥84,300	4	¥1,200	3	¥600	8	243	¥86,100
7	293	¥116,400	3	¥900	16	¥3,200	2	314	¥120,500
8	529	¥207,200	20	¥6,000	46	¥9,200	22	617	¥222,400
9	350	¥138,200	9	¥2,700	4	¥900	0	363	¥141,800
10	384	¥149,800	1	¥300	7	¥1,400	0	392	¥151,500
11	328	¥123,600	6	¥1,800	7	¥1,400	4	345	¥126,800
12	101	¥40,000	1	¥300	7	¥1,400	4	113	¥41,700
1	77	¥30,200	1	¥300	3	¥600	0	81	¥31,100
2	13	¥5,200	0	¥0	0	¥0	0	13	¥5,200
3	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
合計	3084	¥1,204,300	65	¥19,500	119	¥23,900	46	3,314	¥1,247,700

団体客									
月	大人		高・大学生		小・中学生		減免 人数	合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		人数	金額
4	15	¥5,250	0	¥0	0	¥0	0	15	¥5,250
5	21	¥7,350	41	¥10,250	138	¥20,700	17	217	¥38,300
6	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
7	36	¥12,600	13	¥3,250	0	¥0	25	74	¥15,850
8	69	¥24,150	2	¥300	0	¥0	0	71	¥24,450
9	33	¥11,550	0	¥0	0	¥0	49	82	¥11,550
10	31	¥10,850	0	¥0	0	¥0	96	127	¥10,850
11	36	¥12,600	0	¥0	1	¥100	8	45	¥12,700
12	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
1	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
2	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
3	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
合計	241	¥84,350	56	¥13,800	139	¥20,800	195	631	¥118,950

月	展示入場者合計		施設使用	
	個人・団体		人数	金額
	人数	金額		
4	356	¥136,550	43	¥520
5	709	¥227,600	781	¥13,220
6	243	¥86,100	41	¥7,240
7	388	¥136,350	168	¥1,680
8	688	¥246,850	82	¥2,130
9	445	¥153,350	686	¥32,680
10	519	¥162,350	249	¥1,720
11	390	¥139,500	163	¥1,220
12	113	¥41,700	0	¥0
1	81	¥31,100	32	¥0
2	13	¥5,200	0	¥0
3	0	¥0	0	¥0
合計	3945	¥1,366,650	2245	¥60,410

施設使用内訳(人数)			
有料	減免	観光協会	合計
人数	人数	人数	
	3	40	43
	621	160	781
		16	41
	13	86	168
	82		82
	99	530	686
	32	125	249
	23	140	163
	0	0	0
	0	32	32
	0	0	0
			0
	873	1089	2245

月	合計(展示入場・施設使用)		休憩利用 人数
	人数	金額	
4	399	¥137,070	1,513
5	1490	¥240,820	4,481
6	284	¥93,340	1,458
7	556	¥138,030	2,717
8	770	¥248,980	5,065
9	1131	¥186,030	2,581
10	768	¥164,070	1,774
11	553	¥140,720	148
12	113	¥41,700	461
1	113	¥31,100	440
2	13	¥5,200	0
3	0	¥0	0
合計	6190	¥1,427,060	20,638

a+b(人)

総合計		
人数	金額	月
1912	¥137,070	4
5971	¥240,820	5
1742	¥93,340	6
3273	¥138,030	7
5835	¥248,980	8
3712	¥186,030	9
2542	¥164,070	10
701	¥140,720	11
574	¥41,700	12
553	¥31,100	1
13	¥5,200	2
0	¥0	3
26828	¥1,427,060	

令和2年度 いでは文化記念館事業計画（案）について

1. 企画展示

(1) 展示名「第20回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：令和2年4月17日(金)～6月22日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信し誘客の契機を目的とする。

(2) 展示名「山伏と芸能一祈り・鎮魂・擬死再生一」

展示期間：令和2年6月27日(土)～11月23日(月)

展示内容：テーマは「修験と民俗芸能」。山形県内をはじめ、岩手や東北各地にはさまざまな伝統芸能、民俗芸能が伝承されている。神楽や番楽、権現舞など、現代に伝えられる民俗芸能の多くは、修験者、すなわち山伏たちの芸能であったと言われている。明治維新後の修験道廃止によって、その担い手は山伏から庶民へと移行したが、舞いや踊りといった芸能を通して、人々を楽しませながら祝福を祈願することが、かつて山伏たちの仕事の一つであった。今回の企画展では、山伏たちが伝えたといわれる民俗芸能を紹介するとともに、その舞にこめられた祈り、鎮魂、そして擬死再生の世界に迫る。

(3) 展示名「収蔵資料展一羽黒山の松例祭」

展示期間：令和2年11月28日(土)～令和3年4月12日(月)

展示内容：“3年見学しないと分からない”と言われる松例祭。それだけの複雑さと奥深さを持つこの祭りの歴史は古く連綿と今に引き継がれている。本展はなかなか見る機会がない、祭り当日までの諸行事を松聖の“冬の峰修行”から写真パネルで紹介・解説し、この祭りの意味とその全貌に迫る。いでは文化記念館収蔵資料の中から江戸時代の冬の峰関連資料も展示し、本来の修験行事としての松例祭の姿も紹介していく。

【案】企画展示記念イベント

関連イベント 町歩きイベント

『インバウンド観光振興事業&聖火リレー記念 羽黒山伏と歩く～聖火リレーの道・手向宿坊街』（仮）：

庄内や県内在住の外国人を対象とした観光振興事業として、手向のまち歩きイベントを開催する。迫る五輪聖火リレーのコースとなる宿坊街を歩きながら、羽黒山を知る先生方のもと、手向の深い歴史と文化を知ってもらう機会とする。

○日時／5月30日(土) (仮) 9:00～12:00

○講師／勝木 正人 氏(手向地区自治振興会会長・光林坊)、
長南 弘道 氏(荒澤寺正善院 副住職) 通訳付き ほか

○コース／黄金堂～宿坊街～随神門・神社※マイクロバス移動あり

『羽黒山伏と歩く一羽黒山の年中行事に見る芸能・ゆかりの地めぐり』(仮) :

企画展開催を記念して、羽黒山の年中行事の芸能とそれに関わる場所を羽黒山伏先達のもと登拝する。春峰・夏峰・秋峰・冬峰についての解説等。

- 日時／6月13日(土) (仮) 9:00～12:00
- 場所／黄金堂 下居堂(跡地) 合祭殿 峰中堂 荒澤寺
- 講師／林 慈空 氏(荒澤寺正善院 闍伽先達補) ほか
- ◎マイクロバス&徒歩移動
- ◎参加者はイベント保険加入

2. いでは文化記念館企画展示記念講演会

『羽黒山伏と学ぶ・江戸庶民のアイドル！於竹大日如来を知る講座』(仮)

講師：宝井琴桜(講談師)、長南慈恵氏(羽黒山荒澤寺正善院副住職)

- 日時／10月24日(土) 13:30～15:00
- 場所／羽黒山荒澤寺正善院 本堂・於竹大日堂
- 目的／去年台風で中止となったイベントを今年度スライド開催。山伏と芸能というテーマに沿って、羽黒山の山伏の遊芸「絵解き」の一つであるお竹大日如来についての講演を行う。講談師による講談「お竹如来」の開催、そして副住職様によるお竹大日如来の絵解、お竹大日出現の背景にある江戸時代の女性観、お竹さんの話にこめられた出羽三山信仰(羽黒修験)の教えについてなどお話しいただく。

関連イベント案 企画展記念イベント

『山伏が伝えた芸能—岩手鬼剣舞特別公演』(仮)

講師：岩手県北上市滑田鬼剣舞保存会(予定)

- 日時／9月26日(土)(仮) 13:30～15:00
- 場所／いでは文化記念館レクチャーホール
- 目的／企画展「山伏と芸能—祈り・鎮魂・擬死再生—」の記念イベントとして、羽黒修験とゆかりの深い民俗芸能の公演を開催する。今回のイベントでは岩手県北上市の鬼剣舞を招待し、演舞を行うほか羽黒山と岩手県の芸能の関係を解説、紹介する。※インバウンド事業として、地域在住の外国人へも来館を促す。

その他イベント・事業案：企画展クイズラリー開催

企画展図録販売

(フルカラー16ページ 200～300部：一部500円(税込)予定)

いではポイントカードの発行 (4月18日スタート)

3. 「羽黒山歴史探訪～門前町編～」

いでは文化記念館設置趣旨である「出羽三山文化の学習活動を高め、もって地域文化振興に資する」ため実際に周辺史跡を探訪し、羽黒山の深い歴史を身近なところから知る機会を作り地元の文化財の見直し、次世代への継承、保存意識の啓発を目的とする。

(1) 「天宥別当ゆかりの道を辿る～玉川寺・赤坂薬師・黄金堂～」

- 講師／長南弘道氏（羽黒山正善院副住職）
- 日程／10月31日（土）8：45～12：00
- 目的／羽黒山正善院副住職の長南弘道氏による案内のもと、羽黒山中興の祖・天宥別当ゆかりの地を歩きます。国指定名勝・玉川寺庭園の拝観、国指定重要文化財・正善院黄金堂拝観のほか、羽黒地域の隠れた史跡を訪ねます。移動はマイクロバスを利用。昼食は宿坊で精進料理をいただきます。
※去年台風で中止のためスライド開催
- コース／手向地区地域活動センター集合(マイクロバス移動)→玉川寺庭園
→赤坂薬師→黄金堂→昼食(宿坊・宮下坊) 解散

(2) 「俳聖・松尾芭蕉ゆかりの道を辿る～羽黒山編～」(仮)

- 先達／交渉中(宿坊 or 齋館)
- 日程／11月7日(土) 9：00～13：00
- 目的／元禄二年、松尾芭蕉が来山し三山登拝、羽黒山に滞在した芭蕉の足跡をたどる。俳句関係句碑も探訪する。昼食は山頂の齋館で芭蕉膳を楽しむ。
- コース／函司呂丸屋敷跡→宿坊街→随神門→石段→二の坂茶屋で休憩(力餅)→御本坊跡→南谷→山頂史跡(三山句碑)→齋館で芭蕉膳 解散

4. 古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

- 目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。
- 講師 後藤赴司氏（出羽三山山岳宗教研究所 主幹）
- 会場 いでは文化記念館
- 日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日
※いずれかの回1回は実地研修
- 回数 全10回
- 令和2年度使用テキスト・・・手向地区の村内文書、実蔵坊文書

平成18年度より実施している事業で、参加者の要望等も反映し講座内容を年々充実させてきた。平日の開催にもかかわらず、多くの皆さんが興味を持ち出羽三山の歴史の学習も見学することで年々参加者の理解と興味も深まっている。

参加者の地域に存在する出羽三山関係古文書の問い合わせも出てきていることから今後新たな歴史史料の発掘も期待でき、また、それぞれの地域の歴史と文化の継承への一助にもなっている。こうした参加者の意識を広げていくことで重要史料の散逸・消滅の防止にもつながる。

出羽三山の歴史・文化を継承するべく人材育成のために今後とも継続して事業を実施していくとともに、新しい世代の発掘を行う。

—古文書解読・歴史講座参加人数—

実施年度	申込者数	延べ人数
平成18年度（講座回数：全14回）	17名	152名
平成19年度（講座回数：全13回）	35名	254名
平成20年度（講座回数：全12回）	50名	300名
平成21年度（講座回数：全13回）	67名	373名
平成22年度（講座回数：全11回）	53名	293名
平成23年度（講座回数：全12回）	54名	325名
平成24年度（講座回数：全12回）	55名	324名
平成25年度（講座回数：全12回）	46名	227名
平成26年度（講座回数：全12回）	52名	238名
平成27年度（講座回数：全10回）	44名	271名
平成28年度（講座回数：全10回）	38名	196名
平成29年度（講座回数：全10回）	30名	196名
平成30年度（講座回数：全10回）	24名	170名
令和元年度（講座回数：全10回）	28名	194名